

しろやま



【学校教育目標】 学校HP QRコード→
ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成

御船小学校 学校便り

令和6年2月20日（火）
文責：校長 濱本竜一郎

～能登半島地震復興支援に、御船町から派遣された方の講話～

2月19日（月）のことです。能登半島地震で被災した石川県中能登町へ災害支援のため、御船町から第1陣として派遣された方々の一人・島田誠也様（秘書政策室長）をお招きし、5・6年生の子供たちが話を聞きました。

島田様は、「御船町は、これからも能登半島地震の被災地のためにできる限りの行動を続けていきます。皆さんも被災地のためにできることを考えて行動に移してほしいと考えています。」と話してくださいました。

このほかにも、平成28年熊本地震のときに、御船町は中能登町から直接、義援金をいただいたこと。御船町は、東日本大震災や西日本豪雨などの災害が発生したときに、いち早く町職員を派遣していることなども話してくださいました。

子供たちは、「石川県の人たちが熊本が被災したときに支援で助けてくれたから、その恩返しとして、いま私たちにできることを考えよう」と思いました。」などと感想を述べました。

島田室長様から話をお聞きすることで、御船町に住む人たちのやさしさについても考えることができました。

当日は、KKT熊本県民テレビが取材に来られました。そして、同日、夕方の番組「てれびタevery」で放送されました。これもまた貴重な思い出となりました。

現在、子供たちは被災地に応援メッセージを送ることを計画しています。「やさしい人になる」御船小の子供たちです。



町長表敬訪問・全国表彰

本校2年生の上田愛莉さんが、JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクールにおいて全国表彰、中でも大賞にあたる「警察庁長官賞」を受賞しました。このことを受け、2月19日（月）、藤木正幸町長様に表敬訪問を行いました。

藤木町長様は、「愛莉さんがやさしい人だから、自転車に乗るときにはヘルメットをかぶろうということに目が向いたんですね。」とってくださいました。大変貴重な時間でした。

